

# 2020(令和2)年度 事業項目別活動報告

## 1. 2020年度の実績・全体数(表1)

表1 所属毎の活動件数

	各地域センター地域支援課				企画部	基幹C 管理職	非常勤 ・委託	サポー ターズ他	合計
	気仙沼	石巻	基幹	自治体 出向					
地域住民支援	2,255	1,320	421	2,186	37	41	1	21	6,282
支援者支援	86	206	190	286	2	27	0	42	839
普及啓発	188	29	20	43	15	31	11	0	337
人材育成	28	5	12	6	12	17	0	8	88
各種活動支援	2	0	1	0	1	0	0	0	4
調査研究	0	1	0	0	3	5	0	0	9
会議連絡調整	428	350	128	425	116	19	0	0	1,466

## 2. 事業項目別

### (1) 地域住民支援(表2)(表3)

表2 支援方法別対応延べ件数(手紙を除く; N=6,191)

支援方法	件数
訪問による相談	1,519
来所による相談(相談窓口などでの対応を含む)	1,937
電話による相談	2,398
集団活動の中での相談	170
ケース会議(対象者出席の場合)	28
受診同行	56
その他	83
計	6,191

表3 当センター初回支援時の経路(複数選択; N=684)

相談経路	件数
健康調査・全戸訪問	223
行政機関から	215
本人から	130
家族・親族から	109
サポートセンター・仮設支援員から	0
医療・福祉機関から	22
その他(近隣住民、職場、不明、その他)	65

①支援対象者について

a. 性別、年齢および就労状況（図1）

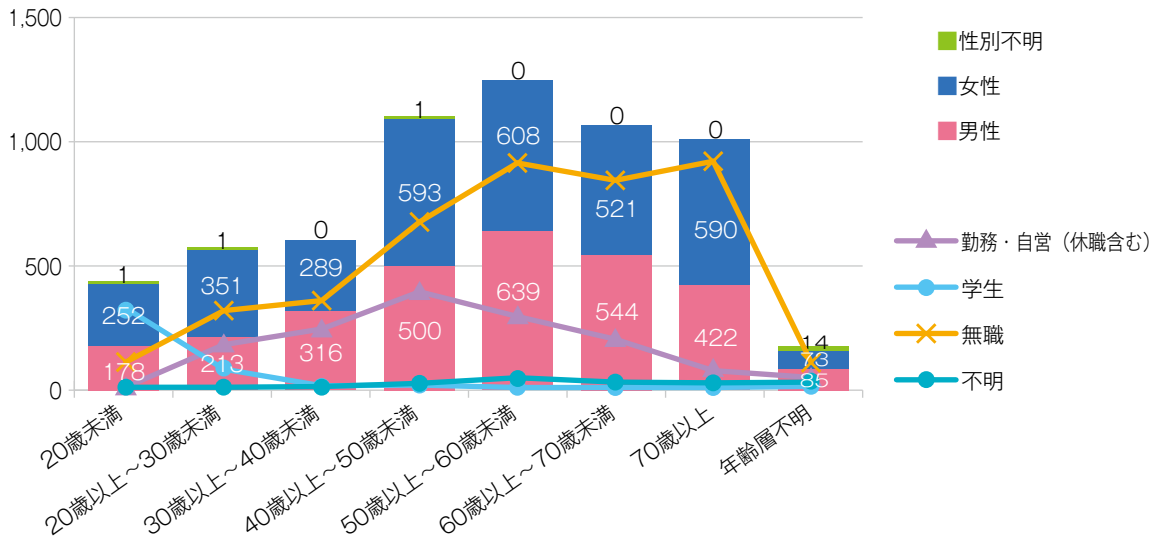


図1 性別・年齢階層別支援対象者数 (延べ件数; N=6,191)

b. 被災状況

死別の状況と対象者 (図2・3)、負傷状況 (図4・5)、住宅被害 (図6・7)

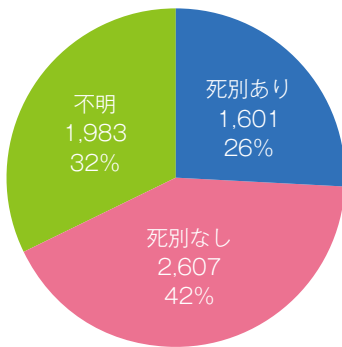


図2 死別の状況 (延べ件数; N=6,191)

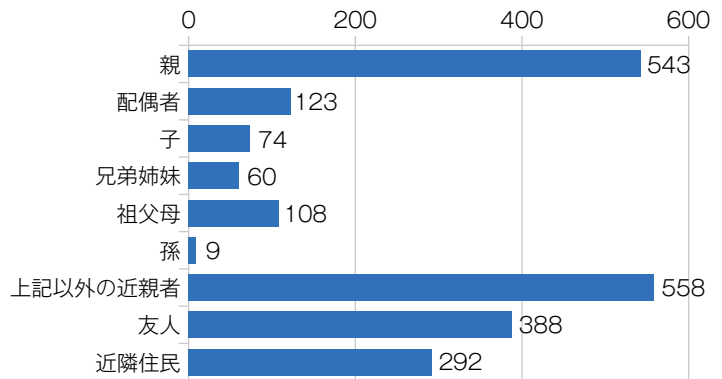


図3 死別の詳細 (延べ件数、複数選択; N=1,601)

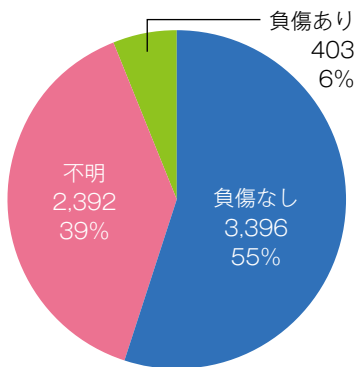


図4 本人または近親者の負傷の有無 (延べ件数; N=6,191)

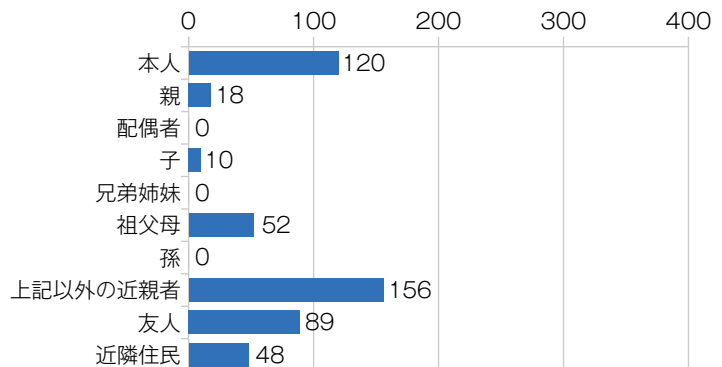


図5 負傷者の詳細 (延べ件数、複数選択; N=403)

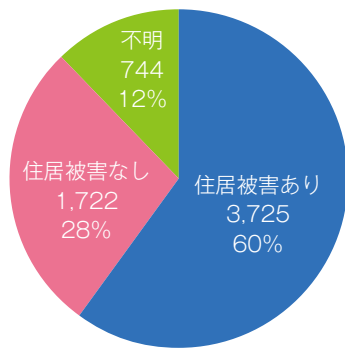


図6 住宅被害の有無  
(延べ件数；N=6,191)

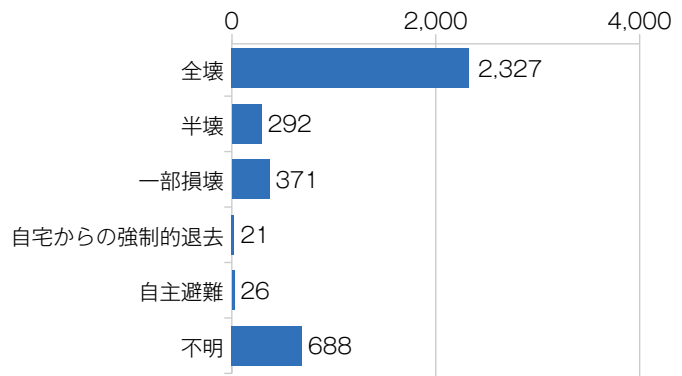


図7 住宅被害の詳細 (延べ件数；N=3,725)

c. 生活状況 (表4・図8・9)

表4 現在の居住環境 (延べ件数；N=6,191)

居住環境	件数
自宅	3,654
プレハブ仮設住宅	31
民間賃貸借上住宅	38
災害公営住宅	2,302
その他・不明	166

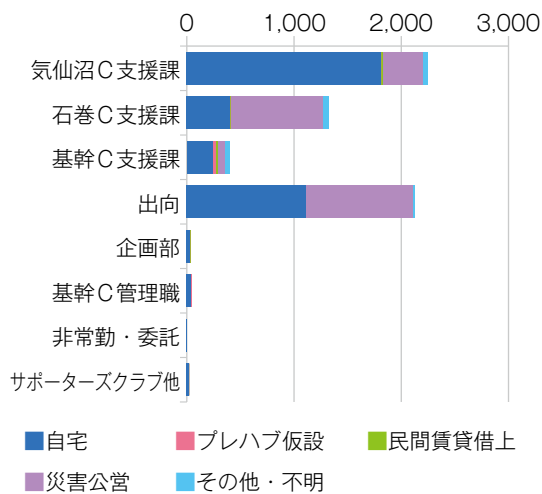


図8 担当課ごと現在の居住状況  
(延べ件数；N=6,191)

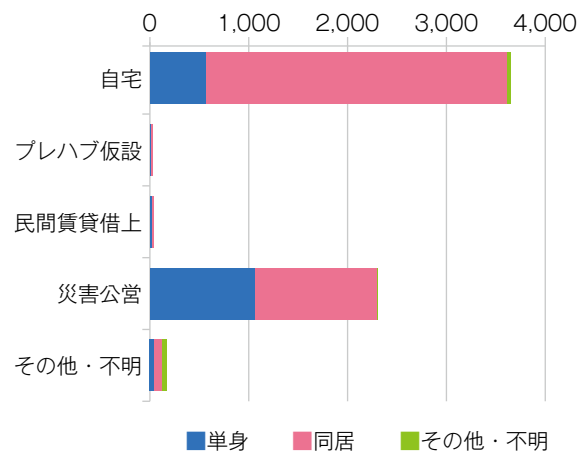


図9 居住環境と世帯の状況  
(延べ件数；N=6,191)

d. 相談の背景 (図10)

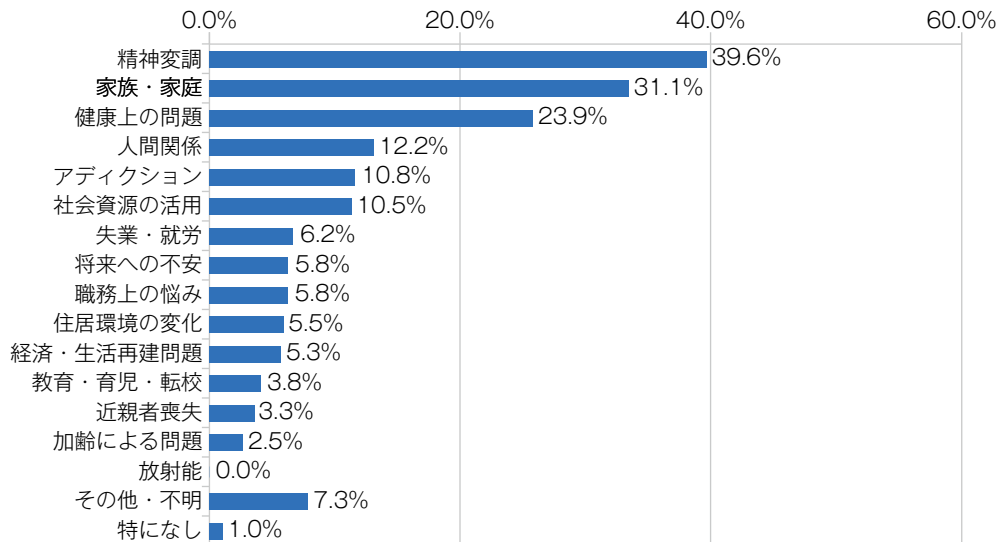


図10 相談の背景の有効回答数に対する割合 (延べ件数、複数回答; N=6,191)

e. 精神変調 (図11)

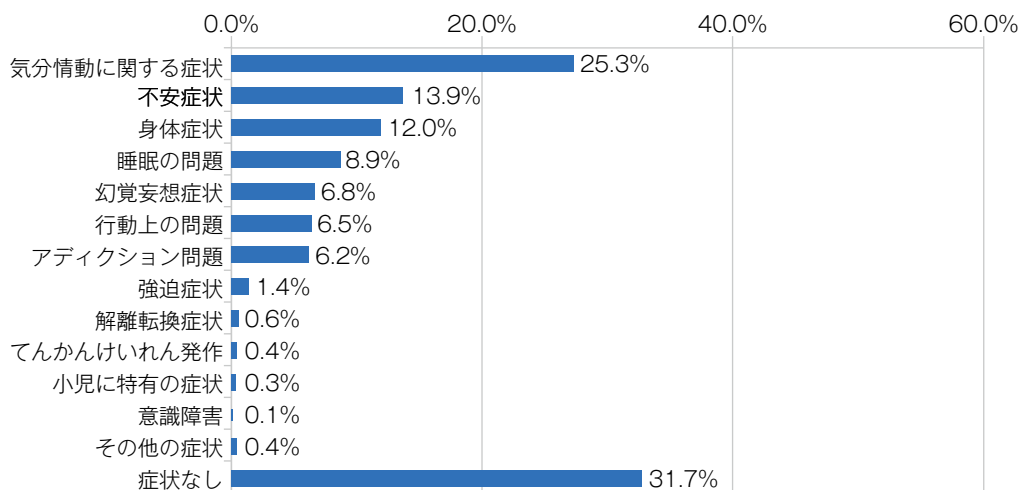


図11 精神変調内訳の有効回答数に対する割合 (延べ件数、複数回答; N=6,191)

f. 精神科受診歴の有無と病名、発症時期、現在の治療歴 (表5・図12)

表5 受診歴と現在の治療状況 (延べ件数; N=6,191)

精神科受診歴	件数
(治療継続中)	2,443
(治療終結)	217
受診歴あり (治療中断)	434
(未治療)	43
(治療状況不明)	11
受診歴なし	2,213
受診歴不明	830

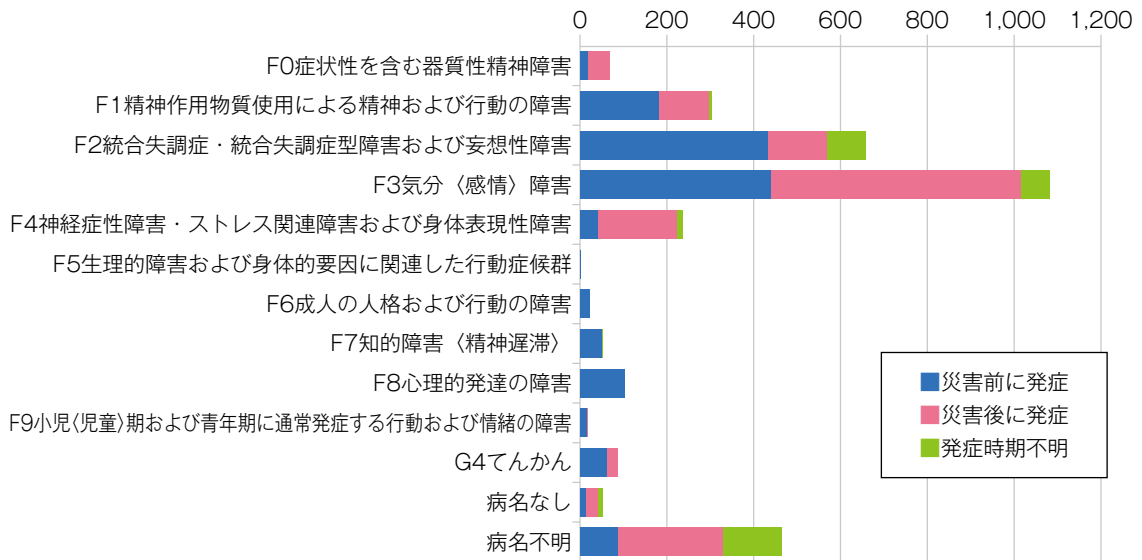


図12 受診歴あり・病名ありの方の疾患分類別件数（延べ件数、複数回答；N=3,148）

②支援内容について

a. 担当課ごと支援方法別件数（図13）

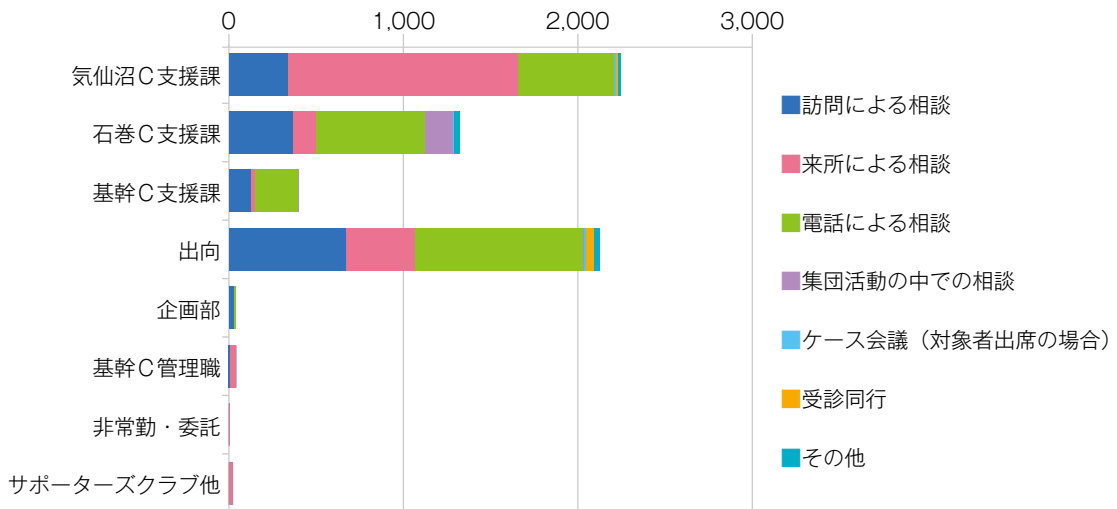


図13 担当課ごと支援方法別件数（延べ件数；N=6,191）

b. 相談者の内訳 (図14)

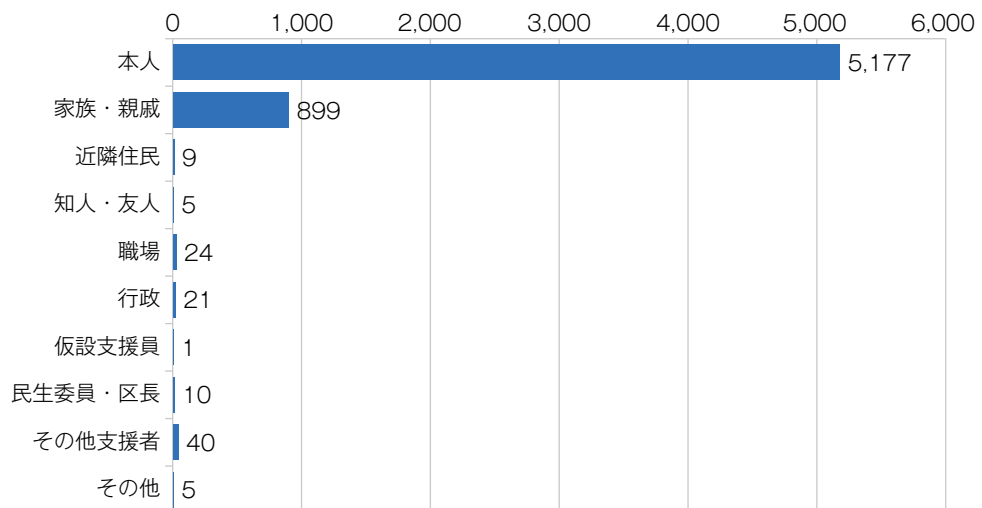


図14 相談者別件数 (N=6,191)

c. 他機関による同席 (図15)

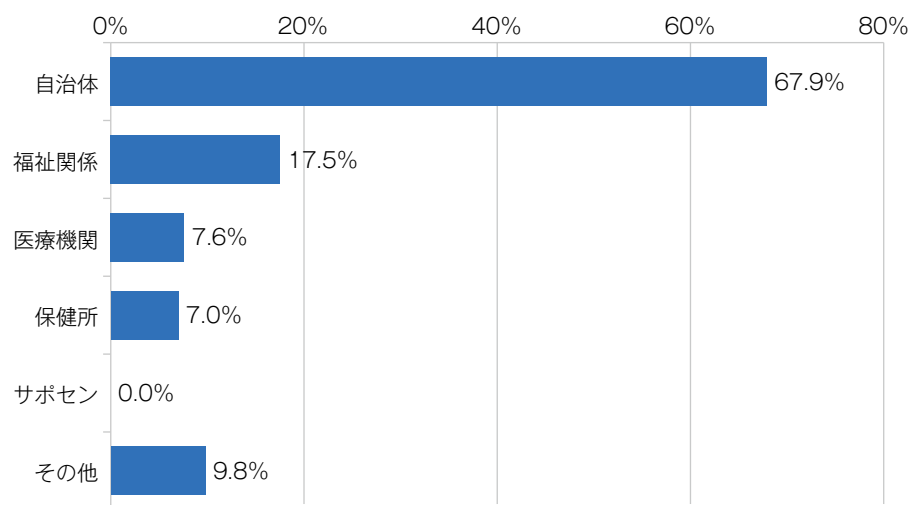


図15 同席他機関の有効回答数に対する割合 (延べ件数、複数選択: N=747)

d. 担当課ごとの特徴（図16）

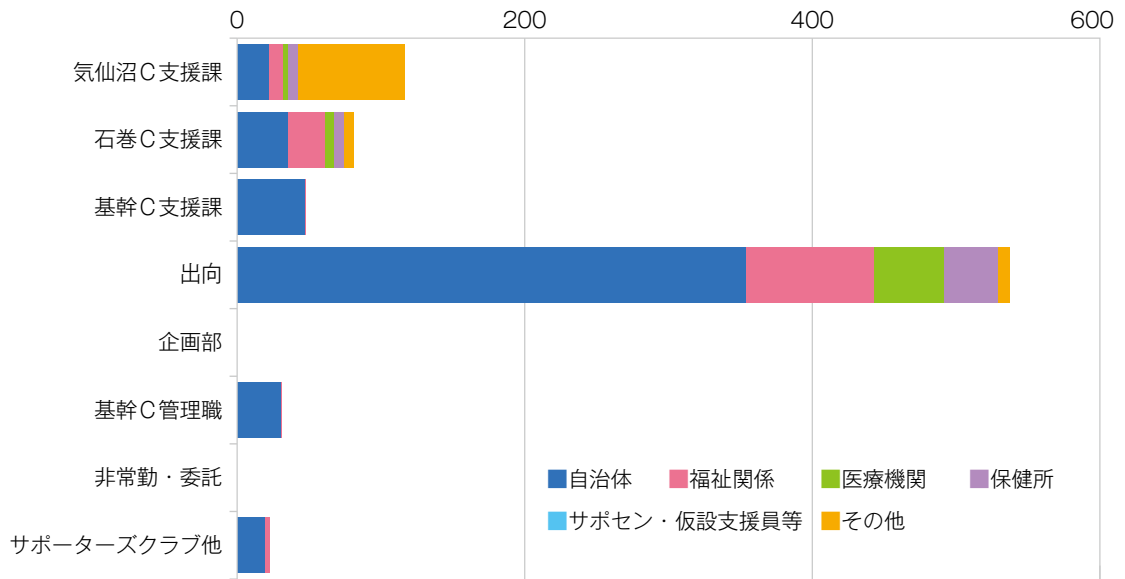


図16 担当課ごと 同席他機関の内訳 (延べ件数、複数選択；N=747)

③支援終結状況について（表6・図17）

表6 転帰 (N=6,191)

対応状況	件数	
継続 (延べ)	定期面談	3,659
	必要時面談	1,777
	その他	0
終了 (実数)	状況改善	570
	他機関紹介	155
	支援拒否	6
	その他	24

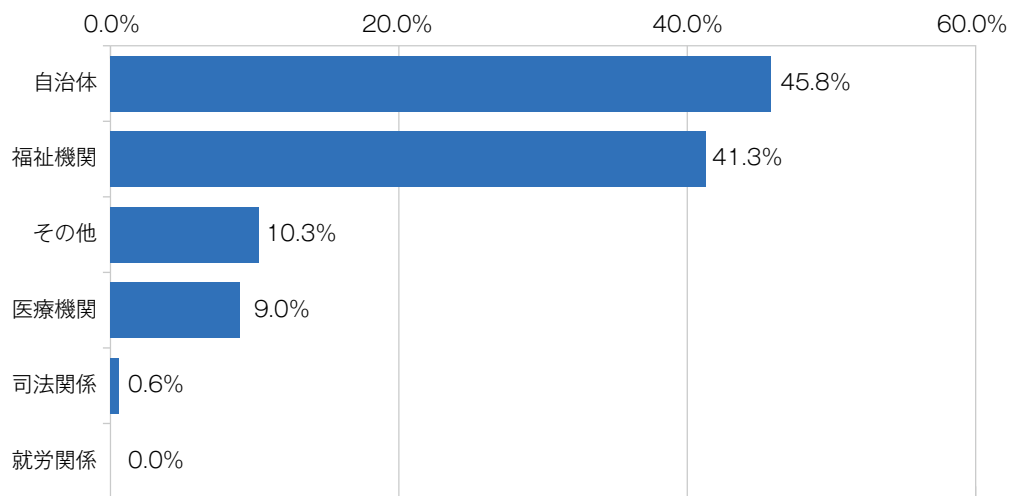


図17 他機関紹介内訳の有効回答数に対する割合 (延べ件数、複数選択；N=155)

## (2) 支援者支援

### ① 支援実施状況

#### a. 支援件数 (表7)

表7 支援者支援実施状況 (延べ件数：N=839)

支援内容	件数	対象者数
訪問・面談後の報告	49	58
専門的立場からの指導・助言	219	808
地域の課題	29	118
職場のメンタルケア	9	39
ケース会議(対象者欠席の場合)	186	1,039
心の相談窓口の開設	33	35
健診支援	124	481
事務作業の支援	168	203
その他	22	40
計	839	2,821

#### b. 専門的立場からの指導・助言の内容 (表8)

表8 専門的立場からの指導・助言 (N=219) の詳細 (延べ件数、複数選択有)

専門的立場からの指導・助言詳細	件数
アルコール問題	9
ギャンブル問題	0
薬物問題	1
うつ	6
複雑性悲嘆	1
PTSD	4
虐待	29
その他	182

#### c. 支援対象者 (図18)

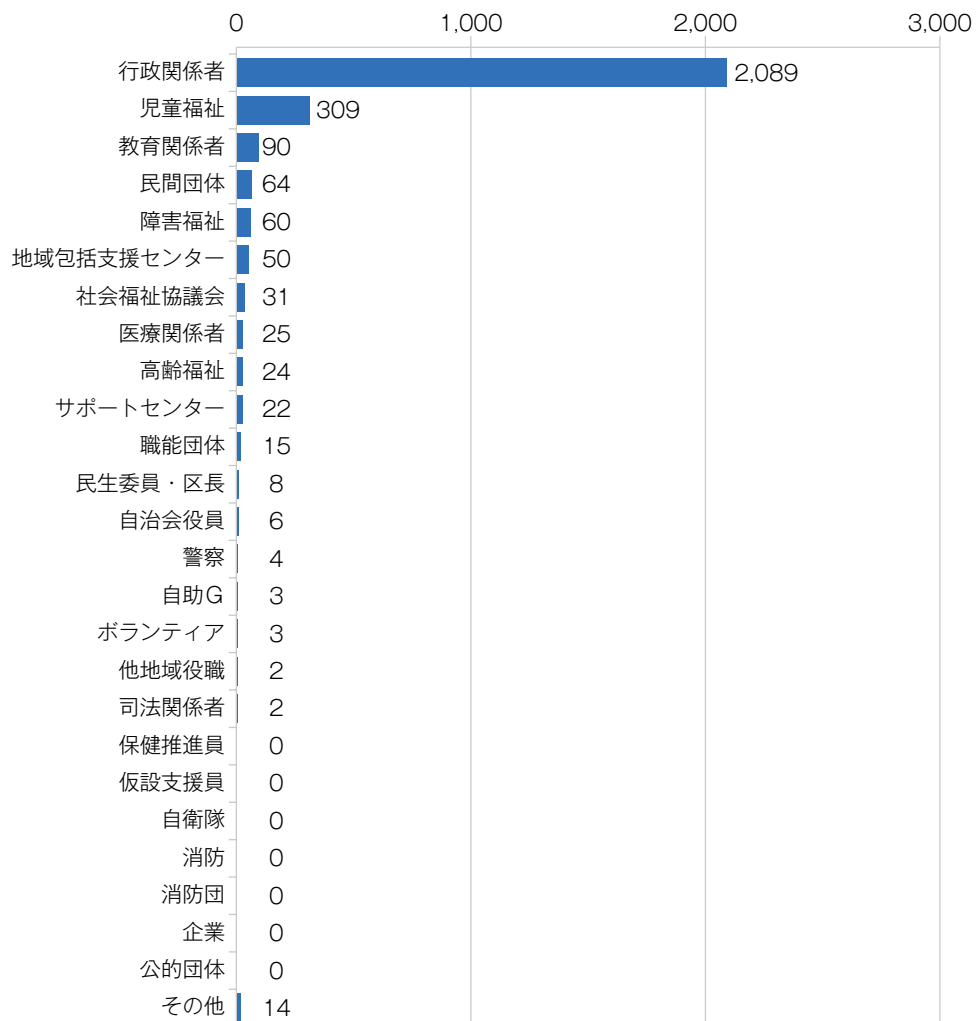


図18 支援対象者詳細 (延べ人数；N=2,821)



②担当課ごと支援者支援の実施内訳（図19）

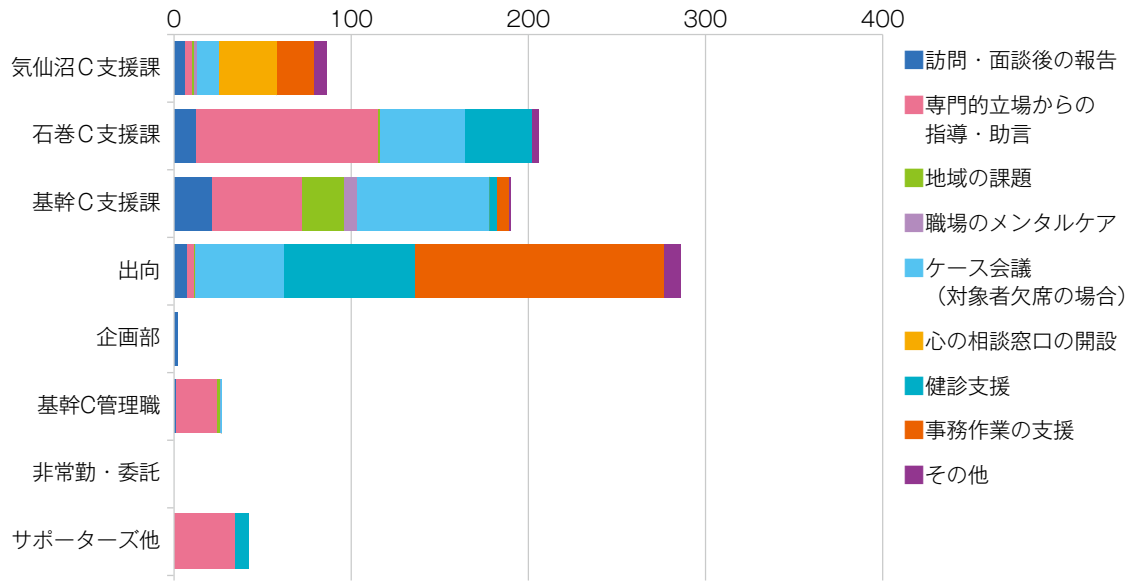


図19 担当課ごと支援者支援実施状況（延べ件数、複数選択；N=839）

③担当課ごと専門的立場からの助言指導の内訳（図20）

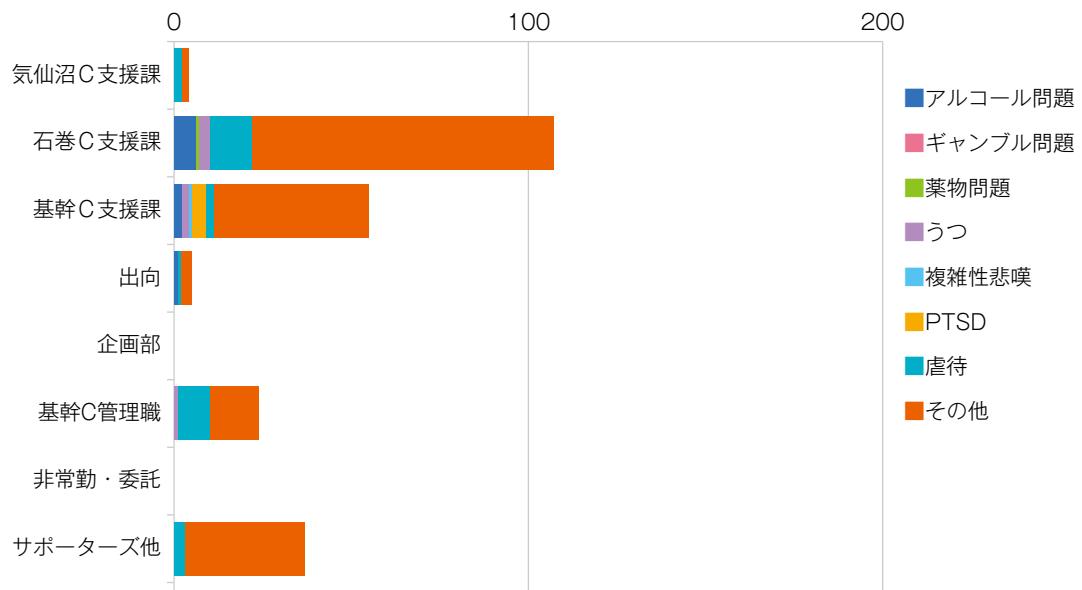


図20 担当課ごと専門的立場からの指導助言の詳細（延べ件数、複数選択；N=219）

(3) 普及啓発

①普及啓発物の発行（表9）

表9 パンフレットなど作成状況

配布地域	タイトル・内容	新規・増刷	作成部数
県内全域	知っておこうお酒とのつき合い方	増刷	2,000部
	飲酒により起こる症状や病気	増刷	500部
	子ども達にもできるセルフケア ポスター	新規	600部

②普及啓発研修（表10）

表10 普及啓発研修詳細（N=32）

	回数	参加者数
震災後の心の反応	1	50
精神疾患について	2	32
話を聞く場合の基本的技術（傾聴、遺族対応など）	2	43
アディクション問題（アルコール問題など）について	19	133
震災が子供にもたらす影響	1	120
ストレスと心のケア・セルフケアについて	6	171
体の健康について	0	0
職場のメンタルヘルスについて	1	9
被災地の状況と当センター活動について	0	0

③サロン活動（表11）

表11 サロン活動（N=64）

	各センター地域支援課				その他	合計
	気仙沼	石巻	基幹	出向		
主催・共催サロン	16	17	8	0	11	52
他機関サロンへの協力	0	0	0	12	0	12

（4）人材育成（表12）

表12 人材育成実施状況（N=88）

内 容	回数	参加者数
震災交流会	0	0
メディアカンファレンス	0	0
アディクション関連問題	4	9
（アルコールについて）	(4)	(9)
（その他アディクションについて）	(0)	(0)
支援スキル研修	43	546
（傾聴について）	(3)	(110)
（ストレスと心のケア・セルフケアについて）	(1)	(10)
（その他）	(39)	(426)
支援者のメンタルヘルス研修	1	50
職場のメンタルヘルス研修	4	88
子供のメンタルヘルス研修	15	428
高齢者のメンタルヘルス研修	1	40
自死対策関連問題研修	5	226
精神疾患・障害についての研修	4	105
被災地の状況とセンターの活動について	4	142
事例検討	2	19
その他	5	127
計	88	1,780

## (5) 調査研究 (表13)

表13 調査研究

活動年	活動月	担当者	調査研究名	詳細
2020年	9月	福地 成	日本における新型コロナウイルス感染拡大が子どもたちの心身に及ぼしたさまざまな影響	第38回日本小児心身医学会学術集会災害関連セッション (Web上で開催、学会運営拠点は福岡県久留米市 会期は2020年9月11日～13日) においてリモートで発表した。
2020年	9月	福地 成	母親のメンタルヘルスと地域支援の実際	第19回日本トラウマティック・ストレス学会 (Web上で開催、学会拠点は兵庫県神戸市 (兵庫大学) 会期は2020年9月21日～10月20日) シンポジウム『東日本大震災後の母子のメンタルヘルス～「みちのく子どもコホート」から見える被災地の今～ (シンポジウム配信は9月22日～10月20日)』においてリモートで登壇した。
2020年	9月	福地 成	東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断支援研究(1): 宮城県の児童の認知発達、問題行動、家庭の被災状況の関連から	第19回日本トラウマティックストレス学会 (Web上で開催、学会拠点は兵庫県神戸市 (兵庫大学) 会期は2020年9月21日～10月20日) ポスターセッションにおいて「東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断支援研究(1): 宮城県の児童の認知発達、問題行動、家庭の被災状況の関連から」(ポスターセッションの配信は9月22日～10月20日) の発表を行った。
2020年	9月	千葉 柊作	東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断支援研究(2): 保護者の被災状況及び過去のトラウマ体験によるクラスターごとの経過について	第19回日本トラウマティックストレス学会 (Web上で開催、学会拠点は兵庫県神戸市 (兵庫大学) 会期は2020年9月21日～10月20日) ポスターセッションにおいて「東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断支援研究(2): 保護者の被災状況及び過去のトラウマ体験によるクラスターごとの経過について」(ポスターセッションの配信は9月22日～10月20日) の発表を行った。
2020年	9月	福地 成	みやぎ心のケアセンターの現状と課題	第116回日本精神神経学会学術総会 (Web上で開催、学会拠点は宮城県仙台市 会期は2020年9月28日～30日) シンポジウム「心のケアセンターの現状と展望」においてリモートで登壇した。
2020年	9月	福地 成	大災害後のコミュニティー支援に何が必要なのか～みやぎ心のケアセンターの活動分析からみえること～	第116回日本精神神経学会学術総会 (Web上で開催、学会拠点は宮城県仙台市 会期は2020年9月28日～30日) 一般演題 (ポスター) において「大災害後のコミュニティー支援に何が必要なのか～みやぎ心のケアセンターの活動分析からみえること～」(ポスターの配信は9月28日～30日) の発表を行った。
2020年	10月	岡崎 茂	自助グループ (断酒会) との共同事業の実施と自立への支援～みやぎ心のケアセンター石巻地域センターでの活動を振り返って～	第11回東北精神保健福祉学会宮城大会 (紙上開催、学会運営拠点は宮城県仙台市 会期は2020年10月11日) の一般演題において「自助グループ (断酒会) との共同事業の実施と自立への支援～みやぎ心のケアセンター石巻地域センターでの活動を振り返って～」の発表を行った。
2020年	10月	渡部 泉	令和元年度 紀要第8号の作成	令和元年度 紀要第8号を作成し発行。883カ所に配布した。
2021年	3月	久保田美代子	公式活動記録 (2011-2020) の作成	公式活動記録を作成し発行。960カ所に配布した。

## (6) 各種活動支援 (表14)

表14 各種活動支援

実施日	活動名	詳細
2020/7/22	名取市健康サロン (節酒の会) メンバーへの支援	名取市健康サロン (節酒の会) の現会長、副会長から、自主グループにするので会則などについての相談があり、それに応じた。
2020/8/22	遺族支援活動「わかちあいの会」に参加 (仙台グリーンケア研究会主催)	わかちあいの会の運営の在り方について検討、滑川氏 (仙台グリーンケア研究会理事長) の講演会の打ち合わせを実施した。わかちあいの会の運営に協力した。
2020/12/26	遺族支援活動「わかちあいの会」に参加 (仙台グリーンケア研究会主催)	わかちあいの会の運営に協力し、その後、来年度の打ち合わせを実施した。
2021/1/12	共同通信社からの依頼に基づく東日本大震災支援団体アンケートに回答	共同通信社仙台支社編集部依頼の東日本大震災支援団体向けアンケートにWeb回答した。